

平成 25 年 4 月 1 日

香川県内大学・高専連携人材育成システム

「21 世紀源内ものづくり塾」(第 2 期)のスタートについて

- 「21 世紀源内ものづくり塾(以下 源内塾)」は、本日より香川県産業成長戦略の産業人材創出支援事業の一環として、香川におけるものづくり企業の明日を担う人材を育成するため、単に技術がわかるだけでなく、マーケティングやビジネスプランの作成等マネージメントも養成する実践的なプログラムにより、「売れるものづくり」が企画・開発できる若手リーダーを育成します。
- 具体的には、育成を目指す人材は、従来の研究開発部門や生産管理部門だけでなく、次代の経営を担う人材(ものづくり分野、ベンチャーを含む)、イノベーションの原動力となる人材、健康関連製品の開発を目指す人材などものづくり全般とし、応募者の業種、経験、立場等特に問いません。
- このため、育成する体制は、「地域で必要な人材は、地域で育成する」を基本に、香川大学を中心に、香川高専、徳島文理大学香川校、県立保健医療大学と言った香川県内の自然科学系の大学と高専(大学等)が連携し、香川の知の総力を結集して育成に当ります。
- その育成の進め方としては、従来源内塾で構築した「座学」、「課題研究」、「技術経営」と言った 2 年間の育成システムを基本に、「教えられる」という受身でなく、「受講者が自ら学ぶ場の提供」により、受講者が主体的に取り組むことを基本に育成します。
- 特に、業務支障をできるだけ少なくするため、育成時間は座学を除き受講者が自由に設定する方式とし、座学による集合教育の他、マンツーマンによる指導教員との面談、ゼミ形式のグループディスカッションによる相互啓発等多様な育成手法により、問題を発見する手法を学び、それを解決する能力を徹底して鍛えます。
- このようにして 2 年の育成課程が修了すれば、所定の審査により「ものづくりマイスター」の称号を授与します。
- さらに、育成修了で縁が切れるのではなく、修了後、企業で、また地域で一層活躍していただきたいため、修了生による同窓会「源内 OB 会」という地域ネットワークにより塾生間で強固な絆を形成するとともに、技術研修会等定期的なフォローアップにより香川のものづくり産業の振興に貢献していただきたいと考えています。

以 上